

2025年度 和泉短期大学 シラバス

| | | | | | | | | |
|------------------|---|--|--|-------|-----------------------|--|--|--|
| 授業科目名 | 保育者論 | | 教員氏名 | 松浦 浩樹 | | | | |
| 科目ナンバー | II-5-4 | | | | | | | |
| 学年 | 2年 | | 開講学期 | 後期 | | | | |
| 授業形態 | 講義 | | 単位数 | 2単位 | | | | |
| 必修・選択 | 保育士・幼免必修 | | 実務経験 | 幼稚園教諭 | 14年 | | | |
| テーマ | 保育者の役割、その専門性について理解する。 | | | | | | | |
| ディプロマ ポリシー | 1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。 | | | | | | | |
| | 科目群Ⅰ 教養 | キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかる人としての価値観を再構築する | | | <input type="radio"/> | | | |
| | 科目群Ⅱ 原理 | 様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う | | | | | | |
| カリキュラム ポリシー | 科目群Ⅲ 知識・技能 | 子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける | | | <input type="radio"/> | | | |
| | 科目群Ⅳ 実践 | 学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う | | | | | | |
| 授業の概要 | 教師・保育者の職務内容と具体的な働きについて幼稚園教諭としての実務経験と保育原理・教育原理の学びをもとに解説します。更に求められる倫理、服務上・身分上の義務、身分保障の理解、チーム学校運営への対応についても考え、学びます。 | | | | | | | |
| 授業の 到達目標 | 1.現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教師・保育者の専門性について説明できる。 | | | | | | | |
| | 2.教職の意義を論じることができ、保育者の役割・資質能力・職務内容を身につけ、保育職への意欲を論じることができる。 | | | | | | | |
| | 3.自分自身の適性を判断し、進路選択に資する保育者の専門性を論じることができる。 | | | | | | | |
| テキスト | 『理論と実践の往還で紡ぐ保育・幼児教育学—幸せに生きるためにヒントは乳幼児期』 朝倉書店 | | | | | | | |
| 参考書 | 随時配布 | | | | | | | |
| ポートフォリオ | 随時提示 | | | | | | | |
| 往還型授業 (双方向授業) | 授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする | | | | | | | |
| | リアクションペーパーを用いて、授業内での疑問等を対話形式にて対応する | | | | | | | |
| | リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理を深める | | | | | | | |
| | ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する | | | | | | | |
| | その他: | | | | | | | |
| 成績評価方法 | 区分 | 割合(%) | 内容 | | | | | |
| | 定期試験 | 0 | 実施しない | | | | | |
| | 授業内課題 参加度 出席態度等 | 100 | 授業内提出課題70%、授業態度と意欲30% (授業態度と意欲にはディスカッションへの参加、発表内容も含む) | | | | | |
| | その他 | | なし | | | | | |

| 授業概要と課題 | | | |
|---------|-----------|--|------|
| 第1回 | テーマ 内容 | 保育者論とは何か、授業の展開について | |
| | 授業外学習 | 〈予習〉テキスト第1章を読む 〈復習〉提示した課題に取り組む | 210分 |
| 第2回 | テーマ 内容 | 保育者の役割(保育者の葛藤と成長) | |
| | 授業外学習 | 〈予習〉テキスト第3章を読む 〈復習〉提示した課題に取り組む | 210分 |
| 第3回 | テーマ 内容 | 保育者に求められる倫理とアイデンティティ | |
| | 授業外学習 | 〈予習〉自己全配布資料を読む 〈復習〉提示した課題に取り組む | 210分 |
| 第4回 | テーマ 内容 | 保育者の専門性①(子どもの学びを捉える保育者のまなざし) | |
| | 授業外学習 | 〈予習〉テキスト第2・4章を読む 〈復習〉提示した課題に取り組む | 210分 |
| 第5回 | テーマ 内容 | 保育者の専門性②(保育者集団の中で自分を育てる保育者の志向) | |
| | 授業外学習 | 〈予習〉テキスト第6章を読む 〈復習〉提示した課題に取り組む | 210分 |
| 第6回 | テーマ 内容 | 保育実践事例より保育者の専門性を考える | |
| | 授業外学習 | 〈予習〉テキスト第6-7章を読む 〈復習〉提示した課題に取り組む | 210分 |
| 第7回 | テーマ 内容 | 保育者の連携・協働①保育における職員間の連携・協働—特別な配慮を必要とする子どもたちと保育者の役割から考える— | |
| | 授業外学習 | 〈予習〉事前配布資料を読む 〈復習〉提示した課題に取り組む | 210分 |
| 第8回 | テーマ 内容 | 保育者の連携・協働②実践から考える(家庭連携含む) | |
| | 授業外学習 | 〈予習〉テキスト第5・7章、及び事前配布資料を読む 〈復習〉提示した課題に取り組む | 210分 |
| 第9回 | テーマ 内容 | 保育者の連携・協働③専門職間及び専門機関との連携・協働/地域における自治体や関係機関との連携・協働(育て合う保育者集団) | |
| | 授業外学習 | 〈予習〉事前配布資料を読む 〈復習〉提示した課題に取り組む | 210分 |

| | | | |
|------|-----------|--|------|
| 第10回 | テーマ 内容 | 保育者の連携・協働④—おたよりの作成・連絡帳の書き方・表現方法一 | |
| | 授業外学習 | 〈予習〉提示した課題に取り組む | 210分 |
| 第11回 | テーマ 内容 | 保育者の資質向上とキャリア形成①(カウンセリングマインドの重要性・研修の意義) | |
| | 授業外学習 | 〈予習〉テキスト第8-9章、及び事前配布資料を読む(復習)提示した課題に取り組む | 210分 |
| 第12回 | テーマ 内容 | 保育者の資質向上とキャリア形成②(保育のカリキュラム・マネージメント) | |
| | 授業外学習 | 〈予習〉事前配布資料を読む(復習)提示された課題に取り組む | 210分 |
| 第13回 | テーマ 内容 | まとめ | |
| | 授業外学習 | 今までの授業を振り返り資料やレポートを整理する | 210分 |

課題に対するフィードバックの方法

提出されたレポートは、次回以降の授業時に口頭やプリントにてフィードバックを行う。

2025年度 和泉短期大学 シラバス

| | | | | | | | | |
|------------------|---|--|--|-------|-----------------------|--|--|--|
| 授業科目名 | 保育者論 | | 教員氏名 | 杉田美香 | | | | |
| 科目ナンバー | II-5-4 | | | | | | | |
| 学年 | 2年 | | 開講学期 | 後期 | | | | |
| 授業形態 | 講義 | | 単位数 | 2単位 | | | | |
| 必修・選択 | 保育士・幼免必修 | | 実務経験 | 幼稚園教諭 | 35年 | | | |
| テーマ | 保育者の役割、その専門性について理解する。 | | | | | | | |
| ディプロマ ポリシー | 1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。 | | | | | | | |
| | 科目群Ⅰ 教養 | キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかる人としての価値観を再構築する | | | <input type="radio"/> | | | |
| | 科目群Ⅱ 原理 | 様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う | | | <input type="radio"/> | | | |
| カリキュラム ポリシー | 科目群Ⅲ 知識・技能 | 子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける | | | <input type="radio"/> | | | |
| | 科目群Ⅳ 実践 | 学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う | | | <input type="radio"/> | | | |
| 授業の概要 | 教師・保育者の職務内容と具体的な働きについて幼稚園教諭としての実務経験と保育原理・教育原理の学びをもとに解説します。更に求められる倫理、服務上・身分上の義務、身分保障の理解、チーム学校運営への対応についても考え、学びます。 | | | | | | | |
| 授業の 到達目標 | 1.現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教師・保育者の専門性について説明できる。 | | | | | | | |
| | 2.教職の意義を論じることができ、保育者の役割・資質能力・職務内容を身につけ、保育職への意欲を論じることができる。 | | | | | | | |
| | 3.自分自身の適性を判断し、進路選択に資する保育者の専門性を論じることができる。 | | | | | | | |
| テキスト | 『理論と実践の往還で紡ぐ保育・幼児教育学—幸せに生きるためにヒントは乳幼児期』 朝倉書店 | | | | | | | |
| 参考書 | 随時配布 | | | | | | | |
| ポートフォリオ | 随時提示 | | | | | | | |
| 往還型授業 (双方向授業) | 授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする | | | | | | | |
| | リアクションペーパーを用いて、授業内での疑問等を対話形式にて対応する | | | | | | | |
| | リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理を深める | | | | | | | |
| | ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する | | | | | | | |
| | その他: | | | | | | | |
| 成績評価方法 | 区分 | 割合(%) | 内容 | | | | | |
| | 定期試験 | 0 | 実施しない | | | | | |
| | 授業内課題 参加度 出席態度等 | 100 | 授業内提出課題70%、授業態度と意欲30% (授業態度と意欲にはディスカッションへの参加、発表内容も含む) | | | | | |
| | その他 | | なし | | | | | |

| 授業概要と課題 | | | |
|---------|-----------|--|------|
| 第1回 | テーマ 内容 | 保育者論とは何か、授業の展開について | |
| | 授業外学習 | 〈予習〉テキスト第1章を読む 〈復習〉提示した課題に取り組む | 210分 |
| 第2回 | テーマ 内容 | 保育者の役割(保育者の葛藤と成長) | |
| | 授業外学習 | 〈予習〉テキスト第3章を読む 〈復習〉提示した課題に取り組む | 210分 |
| 第3回 | テーマ 内容 | 保育者に求められる倫理とアイデンティティ | |
| | 授業外学習 | 〈予習〉自己全配布資料を読む 〈復習〉提示した課題に取り組む | 210分 |
| 第4回 | テーマ 内容 | 保育者の専門性①(子どもの学びを捉える保育者のまなざし) | |
| | 授業外学習 | 〈予習〉テキスト第2・4章を読む 〈復習〉提示した課題に取り組む | 210分 |
| 第5回 | テーマ 内容 | 保育者の専門性②(保育者集団の中で自分を育てる保育者の志向) | |
| | 授業外学習 | 〈予習〉テキスト第6章を読む 〈復習〉提示した課題に取り組む | 210分 |
| 第6回 | テーマ 内容 | 保育実践事例より保育者の専門性を考える | |
| | 授業外学習 | 〈予習〉テキスト第6-7章を読む 〈復習〉提示した課題に取り組む | 210分 |
| 第7回 | テーマ 内容 | 保育者の連携・協働①保育における職員間の連携・協働—特別な配慮を必要とする子どもたちと保育者の役割から考える— | |
| | 授業外学習 | 〈予習〉事前配布資料を読む 〈復習〉提示した課題に取り組む | 210分 |
| 第8回 | テーマ 内容 | 保育者の連携・協働②実践から考える(家庭連携含む) | |
| | 授業外学習 | 〈予習〉テキスト第5・7章、及び事前配布資料を読む 〈復習〉提示した課題に取り組む | 210分 |
| 第9回 | テーマ 内容 | 保育者の連携・協働③専門職間及び専門機関との連携・協働/地域における自治体や関係機関との連携・協働(育て合う保育者集団) | |
| | 授業外学習 | 〈予習〉事前配布資料を読む 〈復習〉提示した課題に取り組む | 210分 |

| | | | |
|------|-----------|--|------|
| 第10回 | テーマ 内容 | 保育者の連携・協働④—おたよりの作成・連絡帳の書き方・表現方法一 | |
| | 授業外学習 | 〈予習〉提示した課題に取り組む | 210分 |
| 第11回 | テーマ 内容 | 保育者の資質向上とキャリア形成①(カウンセリングマインドの重要性・研修の意義) | |
| | 授業外学習 | 〈予習〉テキスト第8-9章、及び事前配布資料を読む(復習)提示した課題に取り組む | 210分 |
| 第12回 | テーマ 内容 | 保育者の資質向上とキャリア形成②(保育のカリキュラム・マネージメント) | |
| | 授業外学習 | 〈予習〉事前配布資料を読む(復習)提示された課題に取り組む | 210分 |
| 第13回 | テーマ 内容 | まとめ | |
| | 授業外学習 | 今までの授業を振り返り資料やレポートを整理する | 210分 |

課題に対するフィードバックの方法

提出されたレポートは、次回以降の授業時に口頭やプリントにてフィードバックを行う。

2025年度 和泉短期大学 シラバス

| | | | | | | | | | |
|------------------|---|--|--|--------|-----|--|--|--|--|
| 授業科目名 科目ナンバー | 保育者論 II-5-4 | | 教員氏名 | 清水 淳一郎 | | | | | |
| 学年 | 2年 | | 開講学期 | 後期 | | | | | |
| 授業形態 | 講義 | | 単位数 | 2単位 | | | | | |
| 必修・選択 | 保育士・幼免必修 | | 実務経験 | 保育所施設長 | 12年 | | | | |
| テーマ | 保育者の役割、その専門性について理解する□ | | | | | | | | |
| ディプロマ ポリシー | 1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 | | | | | | | | |
| | 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 | | | | | | | | |
| | 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。 | | | | | | | | |
| カリキュラム ポリシー | 科目群 I 教養 | キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する | | | | | | | |
| | 科目群 II 原理 | 様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う | | | | | | | |
| | 科目群 III 知識・技能 | 子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける | | | | | | | |
| | 科目群 IV 実践 | 学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う | | | | | | | |
| 授業の概要 | 保育園の園長としての経験を活かし、「保育者の役割」「保育者の仕事」「保育者の専門性」「保育者の協働」「保育者の成長」についてを保育現場での子どもの画像などを通じて具体的に紹介し、保育実践への興味をもつ。重要な人的環境としての保育者の指導・援助のあり方をディスカッション、グループワークを行い実践的に考えていく。そういうで、「保育者になる」とはどういうことを、実際の保育場面と関連づけながら学ぶ。 | | | | | | | | |
| 授業の 到達目標 | 現代社会に於ける教職の重要性の高まりを背景に、教師・保育者の専門性について説明できる | | | | | | | | |
| | 教職の意義を論じることができ、保育者の役割・資質能力・職務内容を身に付け、保育職への意欲を論じることができる。 | | | | | | | | |
| | 自分自身の適性を判断し、進路選択に資する保育者の専門性を論じることができる | | | | | | | | |
| テキスト | 新しい保育講座2『保育者論』汐見稔幸・大豆生田啓友編（ミネルヴァ書房） | | | | | | | | |
| 参考書 | 幼稚園教育要領解説 文部科学省（フレーベル館） 保育所保育指針解説書 厚生労働省（フレーベル館） 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 内閣府・文部科学省・厚生労働省（フレーベル館） | | | | | | | | |
| ポートフォリオ | なし | | | | | | | | |
| 往還型授業 (双方向授業) | 授業内の疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする | | | | | | | | |
| | リアクションペーパーを用いて授業内の疑問等を対話形式にて対応する | | | | | | | | |
| | リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理を深める | | | | | | | | |
| | ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する | | | | | | | | |
| | その他： なし | | | | | | | | |
| 成績評価方法 | 区分 | 割合(%) | 内容 | | | | | | |
| | 定期試験 | | 実施しない | | | | | | |
| | 授業内課題 参加度 出席態度等 | 100 | 授業内提出課題70%、授業態度と意欲30% (授業態度と意欲にはディスカッションへの参加、発表内容も含む) | | | | | | |
| | その他 | | なし | | | | | | |

| 授業概要と課題 | | | |
|---------|-----------|-------------------------------------|------|
| 第1回 | テーマ 内容 | ガイダンス(授業の受け方、「保育者になる」ということ) | |
| | 授業外学習 | 教科書・第1章を読み、自分の考えを持つこと | 210分 |
| 第2回 | テーマ 内容 | 保育者とは(保育者の制度的位置づけ、幼稚園教諭免許と保育士資格) | |
| | 授業外学習 | 教科書・第1章を読み、保育者とは何かを考える | 210分 |
| 第3回 | テーマ 内容 | 保育者の一日 | |
| | 授業外学習 | 教科書・第2章を読み、実習を振り返っておくこと | 210分 |
| 第4回 | テーマ 内容 | 保育者の仕事①－子どもの思いや育ちを理解する | |
| | 授業外学習 | 教科書・第3章を読み、日常的に子どもの観察をしておく | 210分 |
| 第5回 | テーマ 内容 | 保育者の仕事②－文化や自然との出会いをつなぐ | |
| | 授業外学習 | 教科書・第5章を読み、自然物との関わりについて考えてくる | 210分 |
| 第6回 | テーマ 内容 | 保育者の仕事③－家庭への支援 | |
| | 授業外学習 | 教科書・第6章を読み、保護者との関わりについて考えてくる | 210分 |
| 第7回 | テーマ 内容 | 保育者の専門性①保育者の専門性とは何か | |
| | 授業外学習 | 教科書・第7章を読み、保育者の専門性について考えてくる | 210分 |
| 第8回 | テーマ 内容 | 保育者の専門性②計画に基づく実践と振り返り・事例の考察 | |
| | 授業外学習 | 実習日誌を読み直し、振り返っておくこと | 210分 |
| 第9回 | テーマ 内容 | 保育・幼児教育の今日的課題や職業病について | |
| | 授業外学習 | 保育者関連のニュースや幼児教育に関するニュースを集めておく(調査研究) | 210分 |

| | | | |
|------|-----------|-------------------------------|------|
| 第10回 | テーマ 内容 | 保育者の連携と協働 | |
| | 授業外学習 | 自分自身とはを振り返る | 210分 |
| 第11回 | テーマ 内容 | 保育者にとっての学び・社会人になるために | |
| | 授業外学習 | 常識とは何か、マナーとは何かを考え、実践しておくこと | 210分 |
| 第12回 | テーマ 内容 | 保育者の役割と倫理・保育所の役割 | |
| | 授業外学習 | 保育者と保育施設の地域としての役割について調べ、考えてくる | 210分 |
| 第13回 | テーマ 内容 | 12回までの講義全体のまとめと理解度の確認 | |
| | 授業外学習 | 今までの授業を振り返っておくこと | 210分 |

課題に対するフィードバックの方法

作成した課題や質問は次の授業時に振り返りを行う。